

愛汗大志



令和2年7月31日(金)
南城市立知念中学校
校長 垣花 英正



○校内研修：SDGsについて

7月27日(月)、南風原中学校の内山直美教頭先生を講師としてお招きし、SDGsについての研修を行いました。

「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標であり、2030年までの達成を目指しています。

SDGsには、これからの世界が解決すべき17の目標(ゴール)があります。それを紹介すると、「1 貧困をなくそう」「2 飢餓をゼロに」「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「6 安全な水とトイレを世界中に」「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「8 働きがいも経済成長も」「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」「10 人や国の不平等をなくそう」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」「13 気候変動に具体的な対策を」「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさも守ろう」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナリシップで目標を達成しよう」となっています。



このようなアイコンをご覧になったことがあるでしょうか。

新学習指導要領においては、全体の内容に係る前文及び総則において、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられており、各教科においても、関連する内容が盛り込まれています。

そこで本校では、昨年度図書館司書と学書委員会の生徒が中心となって、図書館前にSDGsの説明やその設定に至った背景等を掲示し、SDGsについて考えさせる取組を行いました。また、目標達成のために自分たちにできることを自由記述するコーナーを設けました。そこには、「水の無駄使いはしない」「電気をこまめに消す」「募金活動を頑張る」などと書かれていて、中には「自分の優しさを人にあげる」というものもありました。

今回の研修では、SDGsの視点を取り入れた授業作りについて、内山先生のこれまでの実践例を紹介しながら勉強しました。本校職員がグループになって活動したり、内山先生に指名されて生徒のように答えたりする場面もありました。大切なことは、生徒自身がSDGsについて考え、行動を起こすことができるようになることです。今後もSDGsの視点を取り入れた授業作りに励んでいきます。



研修の様子



昨年度の掲示物

○愛汗デー

7月28日(水)の6校時に愛汗デーの取組として、各教室の大掃除を行いました。ブラシ、新聞紙、ぞうきん、メラニンスポンジ等を使って、一学期間の汚れを落としました。脚立を使い、扇風機をきれいに掃除する場面もありました。



今学期は、コロナの影響で、マスクの着用、水筒持参など、いろいろな制限がありましたが、ご協力ありがとうございました。おかげさまで、無事に終えることができました。

